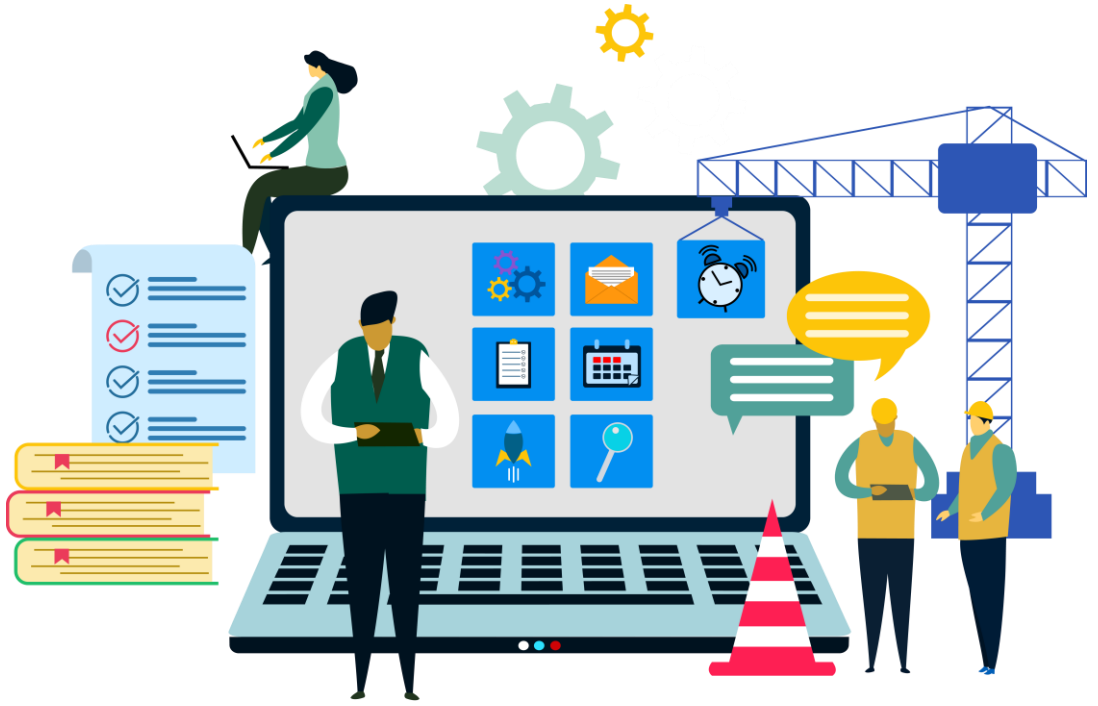
backlog by nulab

建設業

ベテラン監督の段取りを「組織知」へ



工程変更や是正対応の経緯を
工事単位で管理するBacklog活用ガイド

「前回どうした？」の確認がベテラン頼み

工程変更や是正対応のたびに、ベテラン監督への確認が集中していませんか。
経験依存の運用は、説明の繰り返しと品質ばらつきを生む要因になります。

課題 01

工程変更の理由が担当以外わからない

「なぜ順序を変えたのか」「どの業者を先に入れたのか」が工程表に残らず、判断の背景が共有されない。

課題 02

協力会社への説明が毎回変わる

現場の進め方、注意点、指摘内容が担当によって変わり、説明の一貫性が保てない。

課題 03

是正対応の完了条件を毎回確認している

是正写真、監督確認、施主報告などの管理が分散し、確認に時間がかかる。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

課題を放置した場合の経営リスク

工程変更・是正対応の属人化を放置すると、事業の品質が落ちていくリスクが発生します。

01



意思決定の質が低下

現場判断の属人化が進むと、判断や経緯が記録に残らないため、経営層が正しく状況を把握できなくなる。

02



品質ばらつきとトラブル増加

担当者ごとに説明が変わることで協力会社の作業品質が安定せず、施工品質のばらつき・再作業コストが発生。

03



顧客満足度の低下

確認作業が増えるほど、現場の対応スピードが落ち、顧客満足度の低下につながる。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

確認がベテラン頼みになる原因

ベテラン監督への確認が繰り返される背景には、経験そのものではなく、
作業の単位、完了条件、判断履歴が工事ごとにそろっていない管理構造があります。

原因 01

工程変更を管理する単位がそろっていない

工程表の変更だけを残しても、変更に伴う確認事項や担当範囲が分かれていないと、判断の前提が担当者の記憶にしか残らない。

原因 02

協力会社への依頼・確認ルールが共通化されていない

依頼内容、必要資料、確認者、完了条件が現場ごとに異なると、担当者によって説明内容や確認方法が変わる。

原因 03

是正対応の判断と資料が1つの履歴になっていない

指摘内容、是正写真、確認結果、施主への報告が別々に管理されると、完了までの経緯を後からたどりにくくなる。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

ベテランの知見が引き継がれる段取りに変える

個人の段取りを組織知に変えるには、経験を文章化するだけでは足りません。
作業の粒度、完了条件、判断履歴を工事単位でそろえ、次の担当者がすぐに動ける状態をつくります。

改善 01	作業粒度をそろえる	工程変更、是正対応、検査前確認などを、作業単位に分けて登録する	誰に任せる作業かが明確になり、進捗確認がしやすい
改善 02	完了条件をそろえる	必要写真、確認者、報告先、承認条件など、完了に必要な項目を決める	現場ごとの判断差が減り、確認漏れを防ぐ
改善 03	判断履歴を残す	順序変更、是正判断、協力会社への指示理由を作業と一緒に残す	後任者が、同じ確認を繰り返さない

これらを現場の負担なく続けられるかが、定着と形骸化の分かれ目です

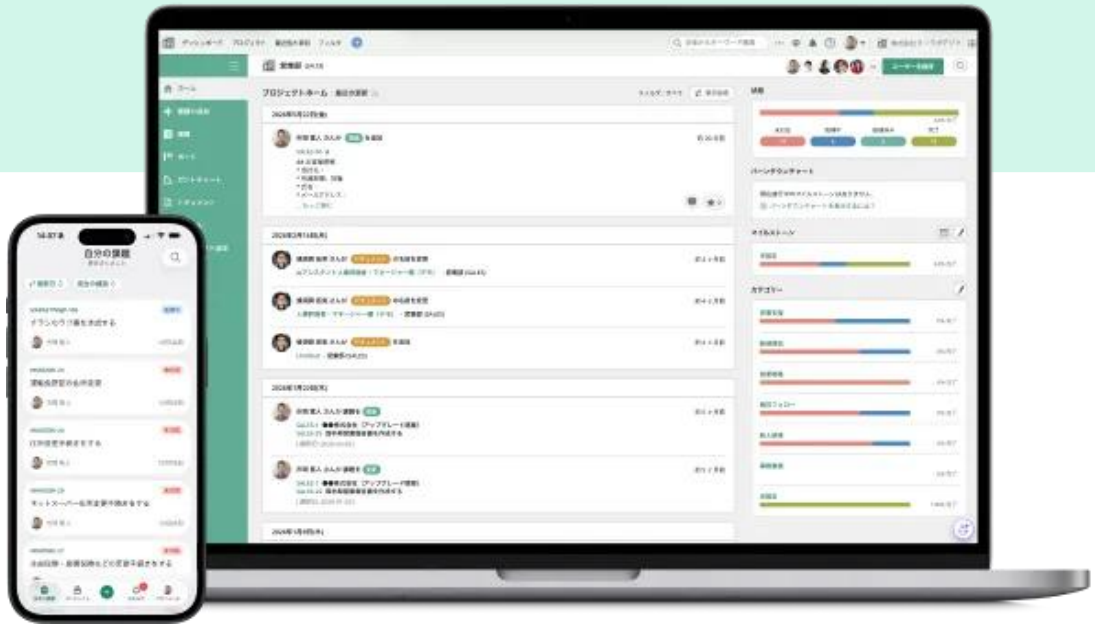
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

現場ノウハウを1か所に集約するプラットフォーム「Backlog」とは

Backlogは、建設現場で発生する作業や確認事項をチームで管理できる
プロジェクト・タスク管理ツールです。

業務場面

- 工程変更の確認
- 是正対応の完了確認
- 協力会社への作業依頼
- 図面・施工写真の共有



backlog by nulab

できること

- 状況の可視化
- データ共有
- 進捗管理
- 報告整理

作業内容、担当者、状態、コメント、関連資料をまとめて管理

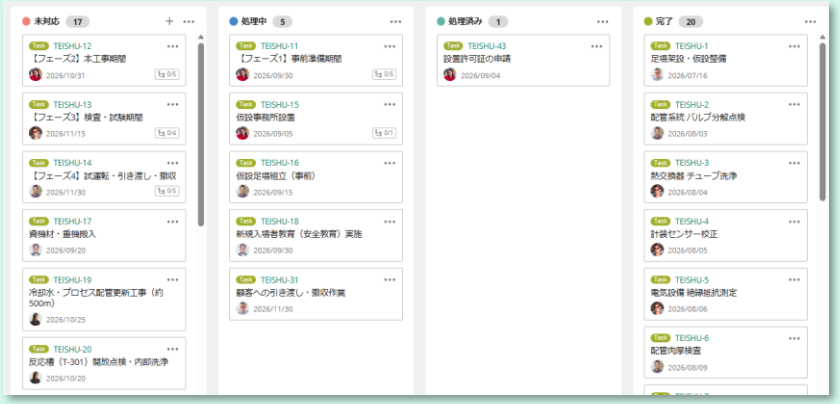
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること１：タスク・ステータス管理

工程ごとの作業や是正対応を「課題」として登録・管理。
全員が同じ画面で、担当者・期限・状態を一覧で確認できる状態にします。







親子課題・孫課題*

タスクの作成・割り当て・追跡を効率化

- 案件を子課題・孫課題に分割して管理
- 親課題で案件全体の進捗をひと目で把握
- 課題ごとに担当者・期限・優先度を設定

*一部プランのみ使用できます。詳細は料金ページをご確認ください。

ガントチャート

プロジェクトのスケジュールを視覚的に管理

- タスクの工程とスケジュールを可視化
- ドラッグ＆ドロップで簡単にスケジュール調整
- マイルストーンの設定と進捗管理

ボード

直感的なタスク管理とワークフロー

- ドラッグ＆ドロップで簡単に状態変更
- 作業の進捗状況をビジュアル化
- ワークフローの効率化と可視化

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること２：コメント・ファイル共有

工程変更や是正対応の際に発生する議論や判断理由を、課題のコメント欄に直接記録。
やり取りが課題に紐づいて蓄積されるため、メールや電話の記憶に頼らず、経緯を後からたどれます。



コメント

タスクに紐づけてコメントを残せる

- 経緯や判断理由をやり取りごと残せる
- 関連ファイルの添付も可能



ファイル

プロジェクトごとにファイル格納

- PDF、画像、エクセル／ワードファイル等を格納可能
- 格納場所を一元化することで情報の散在を防止

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること3：ドキュメント・AIアシスタント

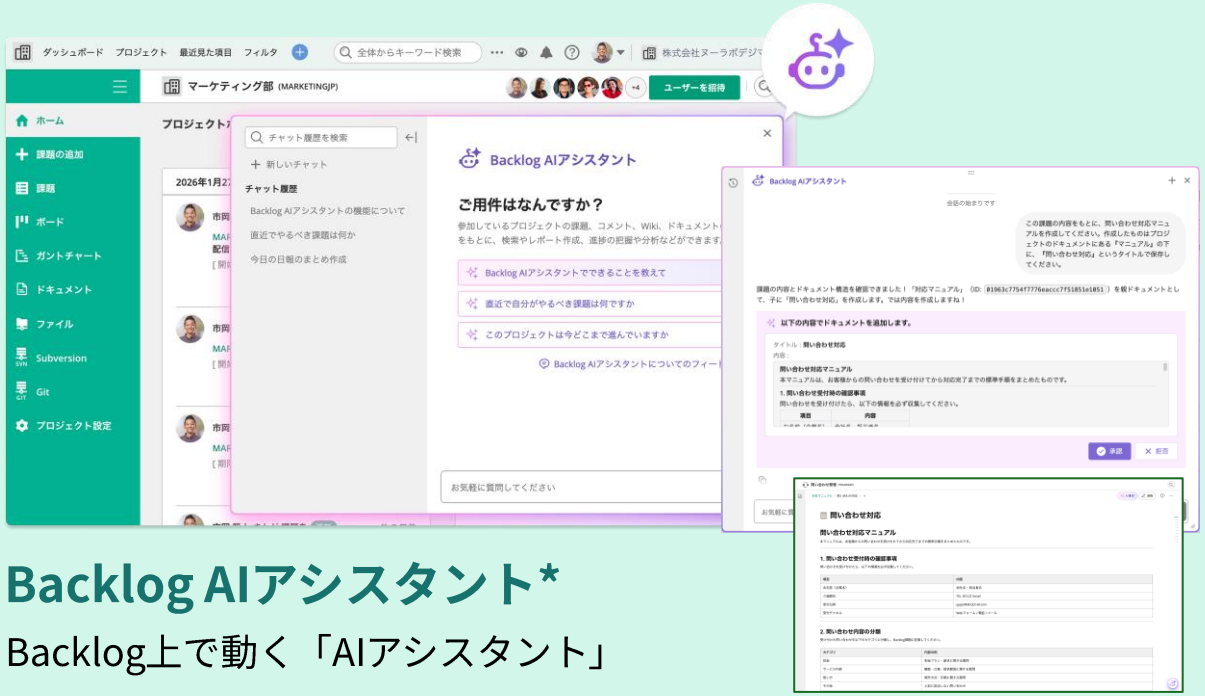
繰り返し聞かれる判断基準や対応マニュアルをドキュメントにストック。
工事の関係者全員が参照できる「情報資産」に育ちます。



ドキュメント

チーム内での情報共有とナレッジベース構築

- プロジェクト内の知識を一元管理
- マークダウン記法でドキュメント作成
- 複数人での共同編集と履歴管理



Backlog AIアシスタント*

Backlog上で動く「AIアシスタント」

- 自社の業務の背景や文脈を踏まえてAI回答
- 専用のAIを構築せずに使える
- 進捗管理やレポート作成、人事評価などにも役立つ

*一部プランのみ使用できます。詳細は料金ページをご確認ください。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

建設業におけるBacklog活用例 ① 工程変更

工程変更の「なぜ」が、工事単位の記録に残る

変更の理由・影響範囲・関係者への確認を、現場が普段の進捗更新のなかで課題に残します。報告のための入力作業は増やしません。

判断の背景が担当者の記憶ではなく組織の記録になり、担当交代や施主への説明の場面でも、経緯を事実で示せます。



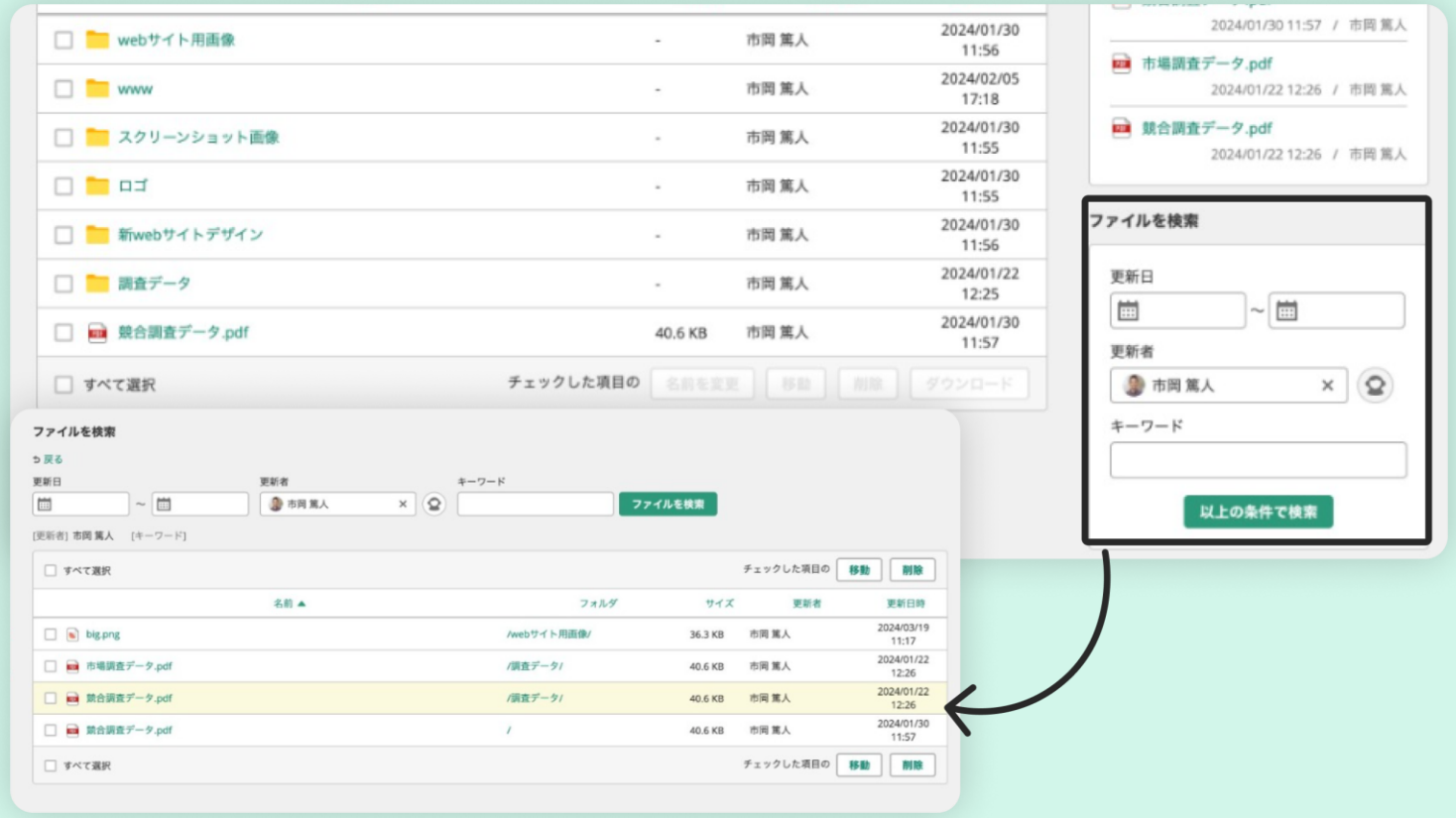
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

建設業におけるBacklog活用例 ②是正対応・施工写真

是正の経緯が、指摘から完了確認まで一本でつながる

指摘内容・是正写真・確認結果・施主への報告を、1つの課題に集約します。

完了条件の認識違いによる再作業コストを抑え、是正の記録がそのまま工事ごとの品質エビデンスとして蓄積されます。



©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

建設業におけるBacklog活用例 ③協力会社への作業依頼

協力会社への依頼が、会社として同じ型で回る

依頼内容・必要資料・回答期限を課題で共有し、口頭や電話に閉じたやり取りを記録に置き換えます。

担当者ごとに変わっていた説明が標準化され、どこで作業が待ちになっているかを経営側からも把握できます。



©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

建設業界のBacklog活用例

Backlogの活用による課題解決の例を紹介します。



導入前

- 協力会社からのメールが膨大で、作業内容が混在。
- 図面データなど容量の大きな資料共有にはオンラインストレージを併用していたものの、ダウンロード忘れによる期限切れや、相手方のセキュリティ設定でメールが弾かれるといった行き違いが頻発していた。

Backlogの使い方

- 作業ごとに課題を立て、担当、期限に紐づけて管理。各作業のステータスが一目で確認でき、今どの協力会社・担当者が対応中かを把握できるように。
- 図面などの関連データもURLを共有する形でやり取りし、ファイル機能に集約。メールやストレージ併用による行き違いを解消。

導入後

- 作業ごとの進捗がわかりやすくなり、止まっている工程をフォローできる体制になった。データのやり取りもファイル機能を通じてスムーズになり、送信エラーによる手戻りも解消された。

詳細はこちら

Backlog導入事例はこちらからご覧いただけます

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

導入を支える費用設計とセキュリティ体制

全社規模での展開や中長期的な運用を見据え、投資対効果（ROI）を最大化し、
組織のガバナンスを遵守するための導入基盤を提供します。

01

アカウント数に縛られない「定額料金プラン」

ユーザー数に応じた従量課金ではなく、スペース単位の定額制を採用。現場代理人・協力会社など、関係者が増えても、追加コストを気にせず運用可能です。

※プランによっては人数制限があります

02

強固なセキュリティ・ガバナンス

ISO 27001 / 27017 / 27018 を取得。インフラには高可用性・高耐久性を誇るAWSを採用し、通信の全面暗号化（TLS）や24時間365日の監視体制で、図面・施工写真・是正記録などを厳重に保護します。

03

基幹システムを補完する「判断の記録」

基幹システムでは残せない「なぜその判断をしたか」「トラブルにどう対処したか」という業務の文脈をBacklogに蓄積。現場の二重入力を防ぎつつ、組織の判断品質を高める基盤となります。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

お気軽にお問い合わせください

無料トライアルで試す
まずは使ってみる



30日間無料で試す

オンラインセミナーで学ぶ
まずは話を聞きたい



オンラインセミナー

個別相談会で相談する
相談しながら決めたい



個別相談会

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.